

化粧打放しコンクリート用エフロレッセンス洗剤



# RC-ER リムーバー

 株式会社 Aール・シー  
une Rencontre, une Chance.

化粧打放しコンクリートに付着した錆汚れ。  
せっかくの打放しの意匠が台無しに・・・  
でも、ご安心下さい。「RC-ERリムーバー」がその悩みを解消 !!

その特長は

- 1 素地を痛めることなくエフロレッセンスだけを除去できます。
- 2 専門の知識を必要としない、コンクリート洗浄未経験者でも施工が可能です。
- 3 コンクリートの仕上げに影響なし。どんな塗装材でも付着に影響はありません。

# 施工方法

## 前処理

1. 塗布対象面は、汚れ、セメントノロなどを除去して下さい。
2. 植栽・車等飛散の恐れのある箇所及び、ガラス・大理石・レンガ等にはマスカ等で養生して下さい。

## サンプル施工

1. あらかじめ目立たない場所を選定し、3～10倍の範囲で水を加えて希釈したRC-ERリムーバーを使用して、小面積でのサンプル施工を行います。希釈程度の違いによる汚れの落ち具合を確認し、現場に於ける希釈程度を決定します。

## 施工手順

1. 予め洗浄する範囲を対象に十分な水湿しを行って下さい。
2. RC-ERリムーバーを希釈して下さい。容器はポリ容器を使用して下さい。
3. 刷毛・ナイロンブラシまたはローラーでこするようRC-ERリムーバーを塗布して下さい。RC-ERリムーバーはコンクリート表面に付着した汚れに直ちに浸透、分解作用によって汚れを除去します。
4. エフロッセンスが浮き上がってきたらしばらく放置し、乾燥しないうちに水で洗い流して下さい。なお、お湯で洗浄するとさらに効果が発揮されます。
5. 汚れの付着から時間が経過し、洗浄による効果が見られない場合は、洗浄を繰り返して下さい。



## ■性状

外 観	無色透明液体
主 成 分	有機酸
臭 気	特有の刺激臭あり
溶解度	水と自由な割合で融け合う
有害性	皮膚等に接触したまま放置すると、 酸薬傷を生じる恐れがあります。
種類	洗浄剤
主な用途	躯体素地面洗浄用
荷 姿	8 kg / 缶
価 格	15,000 円 / 缶(送料・税別)

## ●用意する道具

- ・RC-ERリムーバー ・ポリ容器(3リットル程度)
- ・化学繊維100%の刷毛
- ※ナイロンやポリエステル等、化学繊維100%の刷毛を使用して下さい。獣毛が混じっている刷毛の使用は避けてください。
- ・ナイロンブラシ ・ローラー
- ・ゴム手袋 ・防毒マスク ※作業中多少臭いがしますので、臭いの気になる方はマスクの着用をお勧めします。
- ・保護メガネ ・布ウエス
- ・ケレン道具(スコッチブライト、スクレーパー、ワイヤーブラシ)
- ・マスカ

## ■施工上の注意事項

1. 塗布面に汚れ(泥、セメントノロ、油分など)が付着している場合は洗浄・除去して下さい。
2. 本製品を使用する前にはよく攪拌を行なって下さい。
3. 塗布方法は、原則として刷毛・ナイロンブラシ・ローラー塗りとし、作業環境などを考慮して、適切な施工方法・養生を選定して下さい。
4. 有機溶剤等は含まませんが火気のそばでの施工はお避け下さい。
5. 外気が5℃以下、風速が5m/秒以上になることが予想される場合の使用は避けて下さい。
6. 取扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、マスク、保護メガネ、保護手袋などを着用して下さい。
7. 塗布対象面以外の箇所(植物、金属、ガラス、木材、コーキング材等)は、養生等を施し、付着させないようにして下さい。

## ■取扱い、保管上の注意事項

- 取扱い後は、手洗い及びうがいを行なって下さい。  
容器は転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な取扱いはしないで下さい。  
目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。  
蒸気、ガス等を吸い込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。  
誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。  
一定の場所を定め子供の手の届かないところに保管して下さい。  
容器は直射日光を避け、火気厳禁とし、密栓して通風の良い冷暗所に保管して下さい。またアルカリ性物質等とは一緒に置かないで下さい。  
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」および関係する法律にしたがって処理を行うか、専門業者に処理を委託して下さい。  
廃塗料などを焼却処理する場合には「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関連する放棄にしたがって処理して下さい。  
中身を使い切ってから廃棄して下さい。  
付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処理して下さい。  
河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意して下さい。

材料の安全な取扱いにあたって詳細な内容が必要な場合は、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。